

2019年度 地域連携活動報告書

連携先名称：国立大学法人香川大学

協定締結日：2019/10/16

活動状況：継続中

活動体制（単位）：大学

関連教員：太治輝昭（バイオサイエンス）、増田敬祐（経済）

活動目的：地方大学と都市圏の大学、また、国立大学と私立大学という従前の枠組みを越えた連携により、人材育成や研究連携、さらに地域への貢献において新たな観点や体制での仕組みを構築することを意図したものである。

活動内容：

①香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝資源解析センター主催の農学先端研究国際フォーラムにバイオサイエンス学科 太治輝昭教授が招待され、講演を行った。

：太治輝昭（バイオサイエンス学科）

②香川大学の学生による観光ツアー企画の紹介と本学学生との交流：増田敬祐（経済）

③インターンシップ型短期プログラム「うどん県で楽しいをシゴトにする」への参加

活動成果：

①2019年12月9日 第11回国際シンポジウム「ファイトジーンの可能性と未来XI」

概要：香川大学農学部内の植物ゲノム遺伝子源解析センターのメンバーが中心となり運営・開催している国際シンポジウム。毎年数名の海外及び国内招待講演者を招き、先端の研究成果の講演を行っている。さらにこのシンポジウムでは、英語による研究発表の場として学部及び大学院生に積極的参加を呼びかけており、11回目となる今回は約100名に及ぶ盛況なシンポジウムとなった。

②2019年12月2日 香川大学学生が、本学世田谷キャンパスを訪れ、四国4国立大学とJR四国と共に行っている観光ツアー開発と実際に商品化されたツアーの紹介を行った。本学からは、食料環境経済学科 山村再生プロジェクト学生委員6名が、本学と連携協定を締結している長野県長和町で行っている商品開発、農作業、そのほかの地域連携活動を紹介し、意見交換を行った。

③2020/2/16~21 インターンシップ型短期プログラム

香川大学、芝浦工業大学、津田塾大学、本学の学生が参加して、地域課題について学び合う教育プログラム。

特に地域での”シゴト”を意識したもので、地元自治体や地域企業にインターンとして入り、地域ならではの「うどん県で楽しいをシゴトにする」という内容になっている。オリーブ、醤油蔵、つくだ煮といった地域の食産業やJ R、リゾートホテルなど幅広い受入先があった。農大の定員 6 名を超える応募があり、定員枠を広げての参加になった。将来、食品開発研究をしたいと考える学生や、伝統ある企業の体験を通して自己成長しようとする学生にとって、地域課題や企業の現状・課題等について学ぶ良い機会となった。

①農学先端研究国際フォーラム

香川大学農学部

農学先端研究国際フォーラム

参加費
無料

とき 平成30年11月19日(月) 午前10時00分~午後5時00分
ところ かがわ国際会議場(サンポート高松シンボルタワー6階)

◆Invited Lectures

「Strawberry Production in California and Strawberry Breeding and Genomic Research at UC Davis」
Michael A Hardigan University of California, Davis

「Kiwifruit Genome Editing and Its Applications」
Zupeng Wang Wuhan Botanical Garden, Chinese Academy of Sciences

「Exploration of Bioactive Substances from Natural Resources and Their Modification for Use in Agriculture」
Hisashi Nishiwaki Ehime University

「Genetic Diversity Improves Population Stability and Productivity」
Noriyuki Suzuki Kochi University

◆Research Reports

「Genome Analysis of Cultivated Strawberry (*Fragaria × ananassa* Duch.) Using Microdissected Single Somatic Chromosomes」
Tomohiro Yanagi Kagawa University

「The Role of Type-III Effectors from *Pseudomonas syringae* pv. *actinidiae* biovar 3 in Virulence on Kiwifruit」
Mitsuaki Tabuchi Kagawa University

「S-genotyping Studies of Japanese Plum」
Kenji Beppu Kagawa University

主催：香川大学農学部
農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

お問い合わせ先 香川大学農学部庶務係 087-891-3008まで
<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene>



② 学生交流



③ インターンシップ型短期プログラム

「うどん県で楽しいをシゴトにする」全体概要 (案)

- ▶ 目的：県内の自治体や地域で活躍する魅力的な企業や団体等に一週間程度滞在もしくは定期的に訪問し、行政や団体、また地域企業で働くことを体験する。地域ならではの魅力ある仕事に触れ、また地域課題や企業の現状・課題等について学ぶことで、将来を考え、働くことの意義や指針となることを目的とする。
- ▶ 日程：2020年2月16日(日)～2月21日(金)
- ▶ 参加大学：芝浦工業大学、津田塾大学、東京農業大学、香川大学
- ▶ 募集人数：各大学6名程度。合計24名程度。学部1～2年生。
(各仕事体験先の定員2～3名程度)
- ▶ 単位：授業科目ではないため単位認定なし。
- ▶ 費用：宿泊費、食費、交通費等、自己負担。およそ15,000円程度。
- ▶ 宿泊場所：仕事体験先の勤務地に近い宿舎に宿泊
 - ・小豆島：土庄町域学連携交流施設～夢すび館
 - ・高松市内：香川大学宿泊施設 幸町会館
 - ・観音寺市内：豊浜コミュニティセンター (海の家)
- ▶ 仕事体験先：下記仕事体験先のうちどれかひとつに一週間行き仕事を体験。
※ひとつの仕事体験先に対して希望者多数の場合は、他の仕事体験先に行く可能性あり。

地域/宿舎	仕事体験先 (予定)	事業内容	実習概要 (予定)
小豆島/夢すび館	土庄町、小豆島町、NPO法人トイエの合同	自治体、移住・定住のサポート	三者合同での移住・定住促進業務の体験。移住者、地元住民へのインタビュー、行政での移住政策体験等。
	宝食品株式会社	佃煮の製造販売	佃煮工場見学、製造体験等。
	東洋オリブ株式会社	オリブの製造販売	オリブ園作業、広報業務体験等。
	リゾートホテルオリブアン小豆島	リゾートホテル	接客の企画体験および濃厚焼き体験等のイベント企画体験。
高松市内/幸町会館	JICA 四国、(公社)セカンドハンド、(公財)オイスカの合同	開発途上国への国際協力	三者合同での国際協力体験。オイスカ：有機循環型農業を通じた国際協力体験。セカンドハンド：チャリティーショップを通じた国際協力体験。
	四国旅客鉄道株式会社 (JR 四国)	鉄道	観光サービスの企画体験等。
観音寺市内/豊浜コミュニティセンター (海の家)	観音寺市役所	自治体	文化振興施設での展示企画、運営補助体験。
	川崎酒造株式会社	清酒の製造販売	日本酒製造販売に関わる業務体験。



うどん県で楽しいをシゴトにする

日程 2020年2月16日(日)～21日(金)
応募締切 2020年1月20日(月)

参加大学 香川大学、芝浦工業大学、津田塾大学、東京農業大学(全学部生対象)

仕事体験先 (どれかひとつに1週間)

小豆島	土庄町、小豆島町、NPO法人トイエ
	宝食品株式会社
	東洋オリブ株式会社
	リゾートホテルオリブアン小豆島
高松市内	ヤマク醤油株式会社
	JICA 四国、(公社)セカンドハンド、(公財)オイスカ
	四国旅客鉄道株式会社 (JR 四国)
観音寺市内	観音寺市役所
	川崎酒造株式会社

宿泊場所 (予定)

小豆島	夢すび館
高松市内	幸町会館 (香川大学幸町キャンパス(海の家)隣接)
観音寺市内	豊浜コミュニティセンター(海の家)

費用

宿泊費、食費、交通費等は自己負担です。
(およそ15,000円程度)

スケジュール

2月16日(日) ・全体ガイダンス ・各宿舎へ移動	2月17日(月) ～20日(木) ・各自治体、各企業にて 仕事体験	2月21日(金) ・振り返り報告作成 ・発表会 ・お別れ会
---------------------------------	--	--

